

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

25 湯田地区～誰もが気軽に集まることのできる場～ (湯田地区コミュニティ協議会)

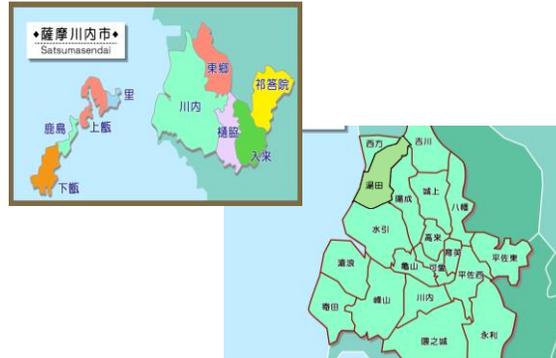


薩摩川内市 高齢・介護福祉課

地域の概要



湯田地区は薩摩川内市の北西部に位置しており、海・山・川に囲まれています。日本名湯100選に選ばれている川内高城温泉があります。人口410人、266世帯、高齢化率56.0%の地域。



取組のきっかけ

湯田地区は、コロナの影響で集いの場が減少。湯田地区の中心にある湯田コミュニティセンターに、『気軽につながる場』ができれば、人と会って話をする機会が増え、楽しみや生きがいにつながるのではないかと中村コミュニティ主事とSCの話し合いが活動きっかけとなった。

取組の目的

- 地域の中心にある、湯田地区コミュニティセンターを集いの場の拠点とする
- 誰でも気軽行くことのできる集いの場の作成
- これからも安心して湯田地区で住み続ける為に、情報共有の場の設定
- 集いの場が楽しみ・生きがいになるようにしていく



これまでの経緯

年・月	出来事
令和5年4月	湯田地区コミュニティ協議会主事と気軽集まれる場について協議する。
令和5年6月	スマホ講座開催(主事の声掛けにより、興味がある方、各自治会長などが参加する)
令和5年8月	スマホ講座の際に地域の見守りや支え合い・つながりについて話しをする。
令和5年9月	湯田地区初めての住民支え合いマップを開催。全7自治会開催へ。
令和5年10月	スマホ講座終了。集いの場の継続へ。形を変化して開催。(はんとけん体操実施)
令和5年12月	はんとけん体操開催。その後、毎月開催。
令和6年6月	湯田地域食堂開催
令和6年7月	湯田地区園芸サロン開催。コロナ禍により中止していたが、数年振りに開催。
令和6年9月	はんとけん体操や地域食堂から参加者の得意なことから新たな折り紙・手芸サロン立ち上げ。
令和6年9月	各自治会の民生委員・健やか支援アドバイザーとの意見交換会開催(協議体)

活動の概要

薩摩川内市湯田地区コミュニティ協議会と協議をして活動を進めている。集いの場に参加者して頂いた方々からの声を集めて、活動から活動へ繋がっている。

参加者からの声や日頃の見守り活動の様子を湯田地区全7自治会の民生委員・健やか支援アドバイザー・行政・社協が参加して協議して湯田地区がいつまでも住みやすい町にしていく。

今後は、様々な活動が継続していけるように、湯田地区コミュニティ協議会とも協議をしていく。

〔活動に関わった人・団体〕
生活支援コーディネーター、市町村、社会福祉協議会、湯田地区コミュニティ協議会、民生委員、健やか支援アドバイザー



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 「みんなのつながり発表会」の開催にて、見える化、見せる化。
- SC活動のフォロー
- SCと定期的な情報共有

〔SCとしての役割〕

- 湯田地区コミュニティ協議会の主事との連携
- 地域の活動につながるように相談対応
- 湯田地区の方々とのネットワークの構築



現時点での到達点 (効果・課題など)

〔効果〕

たくさんの集いの場が出来て、コミュニケーションをとることで笑顔が増えた。参加者が次回の開催日を楽しみしており、生きがいにつながっている。

〔課題〕

たくさんの方々に参加していただけるような周知方法。現在は、出張サロン等を行い活動を知って頂くことも行っている。また活動を続けていけるようにしていく。